

出張医学教育FD (長野県立信州医療センター)

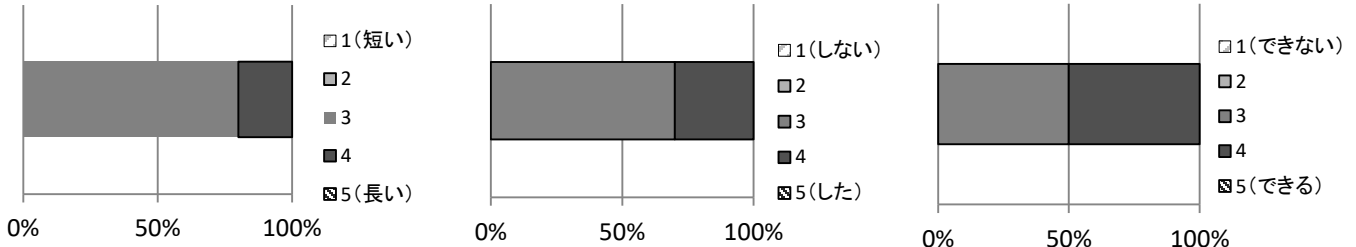
【日 時】 令和元年 12月10日(火)

【参加人数】 20名

【講 師】 多田 剛

【内 容】 参加型臨床実習のすすめ方

FDの開催時間はいかがでしたか。 FDはニーズにマッチしましたか。 学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

FDでわかったこと	FDで疑問に残ったこと	ご意見
チーム医療の一人として参加してもらうこと	充足率が急に上昇したというところが良く分かりませんでした。	学生指導は多忙な業務の中で多大な労力となる(特に少人数の科)。インセンティブもなく疲れるのみである。
ポートフォリオの概観が理解できた	Competency-based Medical Educationの概念は理解したが評価法の詳細や、その根拠について知りたかった。	
行動レポートの意味	ポートフォリオの評価について	
ポートフォリオが作文だということ		
実習の目標、具体的な指導法、評価方法。		
学生にカルテをかかせたり、業務に同席させる事が大切だということがわかった。もっと学生に任務を与えたいと思った。(どうしてもお客様扱いをしてしまうので改めたい)		
学生の評価		
現在の病院実習が、おしえるべきポイント(チームのメンバーとして扱う。カルテを書かせる。病棟スタッフにとけこむようにする)		